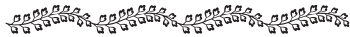


第15回青森県水産賞表彰式

去る1月8日の第45回青森県漁村青壮年女性団体活動実績発表大会席上において、第15回青森県水産賞表彰式が行われた。

社団法人青森県水産振興会 植村正治会長より、水産に関する試験研究、発明発見、普及指導その他本県の発展に顕著な業績をあげた個人及び団体に対し、水産賞が授与された。



受 賞 者



細川一郎

(大正3年4月28日生)

青森県東津軽郡平内町

大字東滝間木74-2

ほたて養殖漁業の可能性を見出し養殖技術の確立に研鑽を積み、さらには漁業後継者に対して、ほたて養殖技術の伝承を積極的に図ってきた。

また、平内町漁協設立時から7年間、理事として直接組合運営に参画し、今日の組合の礎を築く原動力となった。



中村忠司

(昭和11年10月31日生)

青森県下北郡脇野沢村

字寄浪20

昭和57年に脇野沢村漁協の監事に就任し、その後、平成2年からは理事、平成10年からは副組合長として漁協の発展と組合員の指導育成に尽力してきた。

さらには、漁業権管理委員長として免許更新や漁業調整等漁場の維持管理に努めてきた。



鰯の澗定置組合

(昭和50年設立・組合員8名)

青森県西津軽郡深浦町

大字深浦字浜町364-2

代表 斉藤光秋

わかめ養殖では、種苗から生産販売に至るまでの完全養殖を実践し、アワビ籠養殖においては、ツルアラメの養殖や養殖籠の開発等本格的な海面養殖を実践し、養殖技術の普及発展に寄与してきた。

また、サケ及びサクラマスと海産親魚を積極的に供給し、増養殖技術の向上に努めた。



大戸瀬漁協女性部

(昭和48年設立・会員数161)

青森県西津軽郡深浦町

大字北金ヶ沢字塩見形406-1

部長 熊谷タマエ

海岸清掃や花壇作り等、作業環境の美化に努めるとともに、植樹運動に積極的に参加された。

また、塩蔵モズクの開発や中学生を対象に地元の魚を使った「おさかな料理教室」を開催し、魚食普及と地産地消の推進に努め、地域に密着した活動を行っている。



青森県水産賞受賞者記念写真